

一般国道 183 号鍵掛峠道路法面对策検討会（第 1 回） 議事概要

1. 日時 : 令和 5 年 9 月 1 日（金） 14:00～15:45

2. 場所 : 庄原市八銚自治振興センター 第 1 会議室

3. 出席者

◎森脇 武夫 広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
島 俊郎 広島大学 大学院 工学研究科 教授
西村 強 鳥取大学 大学院 工学研究科 教授
山本 俊彦 国土交通省中国地方整備局道路部 特定道路工事対策官
※敬称略 ◎会長

<事務局>

国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所

4. 議事

- 規約について
- 法面の崩落・変状箇所の報告
- 現地確認

5. 議事概要

- 法面の崩落または変状があった箇所について、現地状況及び地質の確認を行った。
- 切土法面に崩落・変状があった箇所については、掘削による応力開放や掘削した法面に雨や融雪が浸透したことなどにより地山強度が低下し、地すべりや法面表層の崩落・変状が発生したものと推定される。
- 法面の崩落・変状箇所の法面、地質の状況、要因及び対策方針について確認。今後、具体的な法面の対策工法について検討を行う。



【写真①】現地確認の状況



【写真②】現地確認の状況



【写真③】現地確認の状況



【写真④】検討会の状況